

2014. 03. 10

## 第4回「Patient Advocacy Leadership Awards (PAL Award)」開催のお知らせ ～ライソゾーム病患者団体のための国際助成金プログラム～

2014. 03. 10

ジェンザイム社（ケンブリッジ、マサチューセッツ州）は、本年2月28日に、世界希少・難治性疾患の日(Rare Disease Day)を記念して、希少な遺伝性疾患であるライソゾーム病（LSD）の患者団体をサポートする国際助成金プログラム「第4回Patient Advocacy Leadership Award (PAL Award)」の開催を発表いたしましたことをごお知らせします。[www.genzyme.com](http://www.genzyme.com)

この助成金プログラムは、全世界におけるライソゾーム病患者団体を対象とし、患者団体による疾患への認知、疾患教育やケア、ライソゾーム病コミュニティへの支援を向上するための新しい画期的なアイデアの創出を支援するためのものです。ライソゾーム病コミュニティへの支援を向上するための新しい画期的なプロジェクトの企画を提出いただき、外部の審査委員会により、受賞団体が選ばれます。受賞団体には、提出いただいたプロジェクトへの助成金が授与されます。

2013年には、25か国より40を超える患者団体から応募がありました。チリ、中国、デンマーク、ハンガリー、フィリピン、英国、および米国における8団体の企画が選ばれ、ジェンザイム社から総額10万ドルを超える助成金が授与されました。

米国のNational Tay-Sachs(テイ=サックス病) and Allied Diseases Association (NTSAD) は、重篤な疾患を持つ子供たちの兄弟をサポートすることを目的としたビデオシリーズの製作を提案し、2013年にPAL Awardを受賞しました。2011年および2013年にPAL Awardを受賞したNTSAD/ファミリーサービスの責任者であるKimberly Kubilusは「このような機会を与えていただいたことに対し、ジェンザイム社に心から感謝しています。子供の患者さんの兄弟をサポートするコミュニティを作り、一層強力なものに育成していくことで、ご兄弟の経験を保護者や医療提供者により深く理解してもらうことにもつながります」と述べています。

なお、この助成金プログラムは、各国における患者団体の年間活動の支援を目的とした寄附金に代わるものではなく、外部の審査委員会に審査される国際コンペで、既存の寄付金を補完するものです。

ジェンザイム社 PAL Awardについて、また、応募方法の詳細は、こちらのサイト(英語)

([www.genzymeadvocacyawards.com](http://www.genzymeadvocacyawards.com)) をご覧ください。

■応募締切：2014年6月6日（金）必着

\*[www.genzymeadvocacyawards.com](http://www.genzymeadvocacyawards.com) に直接、応募書類（英語）をご提出ください。

■受賞発表：2014年9月30日（月）予定

ジェンザイムは、ライソゾーム病治療薬のパイオニアとして、ライソゾーム病のコミュニティをサポートする画期的で新しいアイデアの創出を支援いたします。